



INTERNATIONAL GREEN PURCHASING NETWORK

国際的なグリーン/サステイナブル公共調達推進の イニシアティブについて

2013年6月3日(月)



コンテンツ

- サステイナブル公共調達イニシアチブ(SPPI)
 - SPPEL
 - ASEAN+3
 - SWITCH-Asia
 - 国連の調達における倫理
-



INTERNATIONAL GREEN PURCHASING NETWORK

サステナブル公共調達イニシアティブ (SPPI)

マラケッシュ・プロセス (MP)

マラケッシュ・プロセス (MP)

- 2002年の持続可能な開発に関する世界首脳会議 (UN World Summit on Sustainable Development) で署名されたヨハネスブルグ実施計画 (Johannesburg Plan of Implementation) では、*全ての政府が消費と生産の持続不可能なパターンを変えることが求められた (第3章)*。
- *持続可能な消費と生産 (SCP) へのシフトを加速させるために、この実施計画は持続可能な消費と生産の10年の枠組み (10YFP) の開発を推進した。*
- マラケッシュ・プロセスは、SCPに関する10年の枠組みを開発するための国際協力の取組み。最初の国際専門家会議が2003年にモロッコ・マラケッシュで開催されたので“マラケッシュ・プロセス”と名付けられた。

ゴール

- 政府による自国経済のグリーン化への取り組みを支援する
- 企業による環境に配慮したビジネスモデルの開発を支援する
- 消費者によるより持続可能なライフスタイルを採用することを促進する

参加者

- 各国政府、開発機関、そして市民社会の積極的な参加を得ながら、国連環境計画 (UNEP) と国連経済社会局 (UNDESA) がこの国際的な取組みの主導機関の役割を果たす。

マラケッシュ・タスク・フォース (MTF)

マラケッシュ・タスク・フォース (MTF)

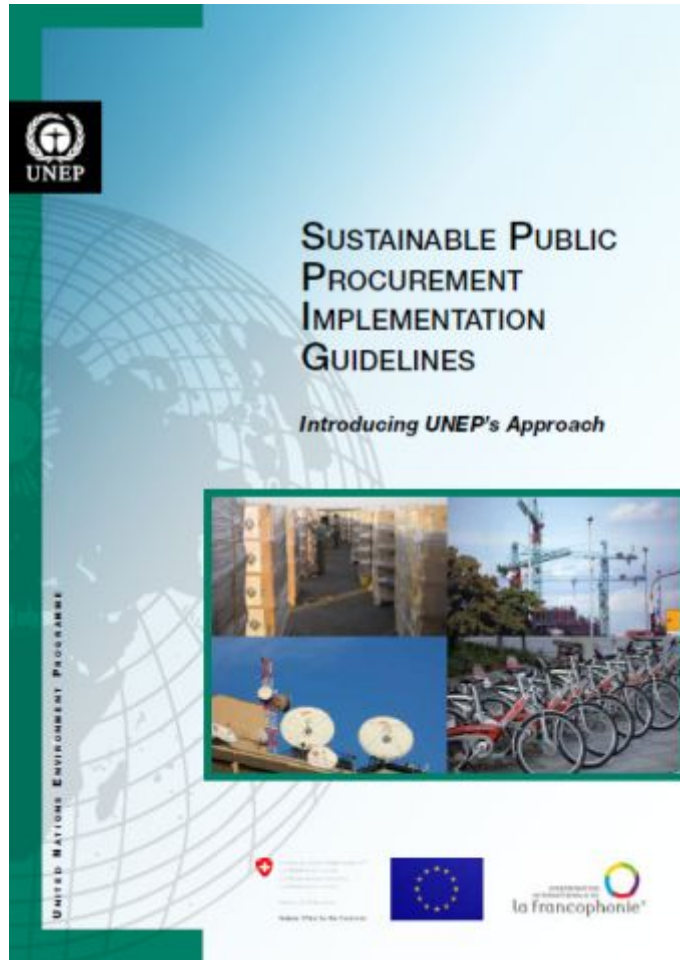
- 政府が主導する自主的な取り組みで、北と南の様々なパートナーと協力して持続可能な消費と生産へのシフトを推進し、国または地域レベルでの具体的な活動に取り組むタスク・フォース。
- 次の課題に取り組む7つのタスク・フォースが作られた：
 - サステナブルライフスタイル(リード国:スウェーデン)
 - サステナブル製品のポリシー(リード国:英国)
 - アフリカとの協力(リード国:ドイツ)
 - サステナブル公共調達(リード国:スイス)
 - サステナブルツーリズム(リード国:フランス)
 - サステナブル建築・建設(リード国:フィンランド)
 - サステナブルな消費への教育(リード国:イタリア)
- サステナブル公共調達のタスク・フォースは2005年に発足(2011年に終了)。
- サステナブル公共調達のタスク・フォース参加組織:アルゼンチン政府、メキシコ政府、ガーナ政府、フィリピン政府、中国政府、チェコ政府、英国政府、ノルウェー政府、米国政府、サンパウロ州、欧州委員会、国連環境プログラム(UNEP)、国連経済社会局(UNDESA)、国際労働機関(ILO)、IISD
- より持続可能な公共調達の実施のために公共機関を支援し推進を働きかけるためにマラケッシュ・タスク・フォースが開発したSPPの方法が“MTFのSPPアプローチ”と呼ばれている。

SPPアプローチのテスト

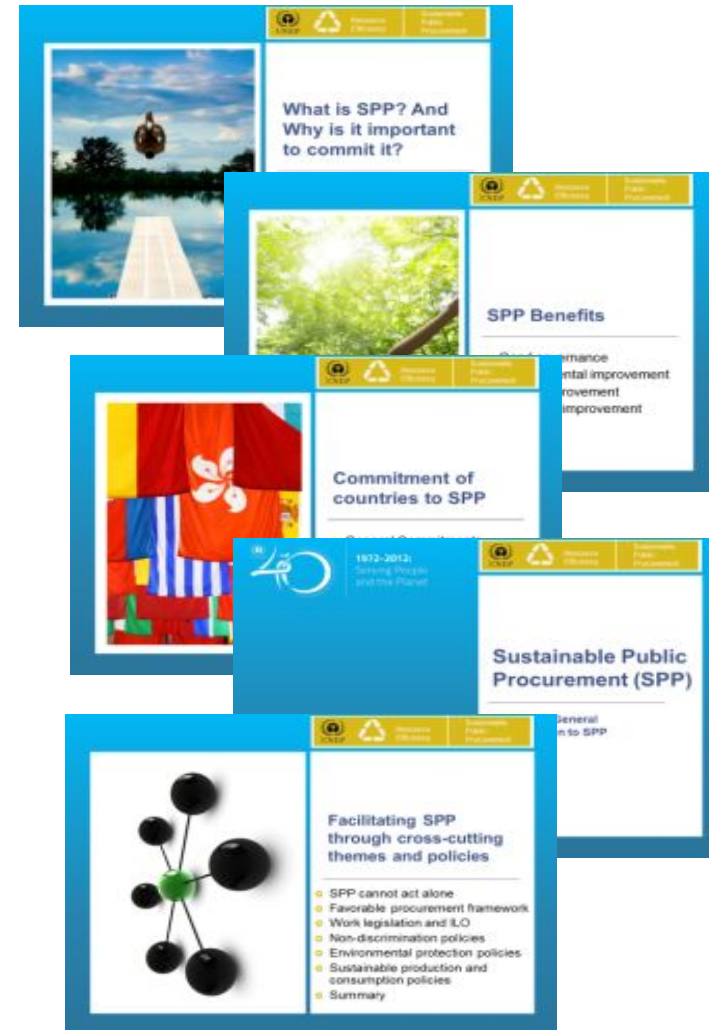
UNEPによりMTFのアプローチが試験国でテストされ、
2011年に改訂されたアプローチが開発される



UNEPの近年の成果



MTFのSPPアプローチを基に
作成



SPPのトレーニング・キット

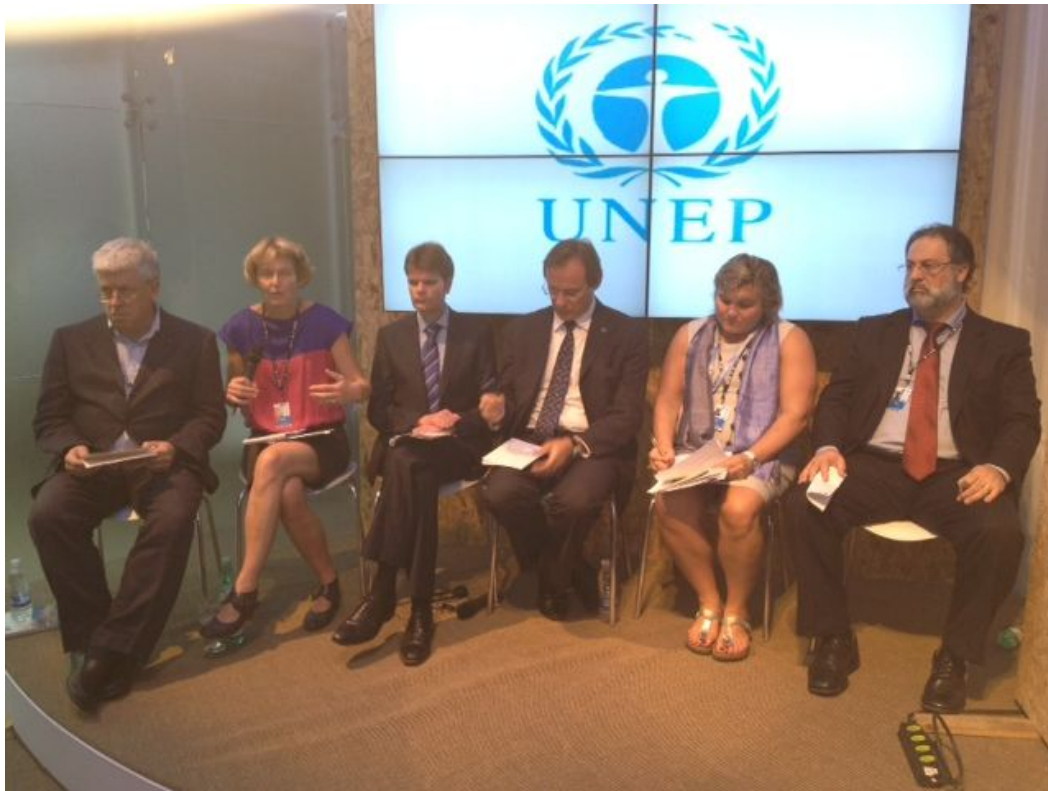
リオ+20にて

**RIO+20**United Nations Conference
on Sustainable Development

- 持続可能な消費と生産 (SCP) に関する「10カ年計画枠組み (10YFP)」が採択され、成果文書の中でサステナブル公共調達 (SPP) は優先プログラムとして記載された。
- IISD (International Institute for Sustainable Development)、米国環境保護庁、ブラジル政府、北欧閣僚会議、スウェーデン環境管理協議会、UNEPなどによってSPPに関する数々の併催イベントも開催された。
- 持続可能な開発の対談の中でグロ・ハーレム・ブルントラント氏は「SPPを推進することは、変化のための足掛かりとして、持続“不”可能な生産と消費のパターンを方向変換させるために不可欠である」と語っている。

2012年6月18日：リオ+20にてSPPIの立ち上げ

UNEPパビリオン リオデジャネイロ、ブラジル



サステナブル公共調達イニシアチブ (SPPI)

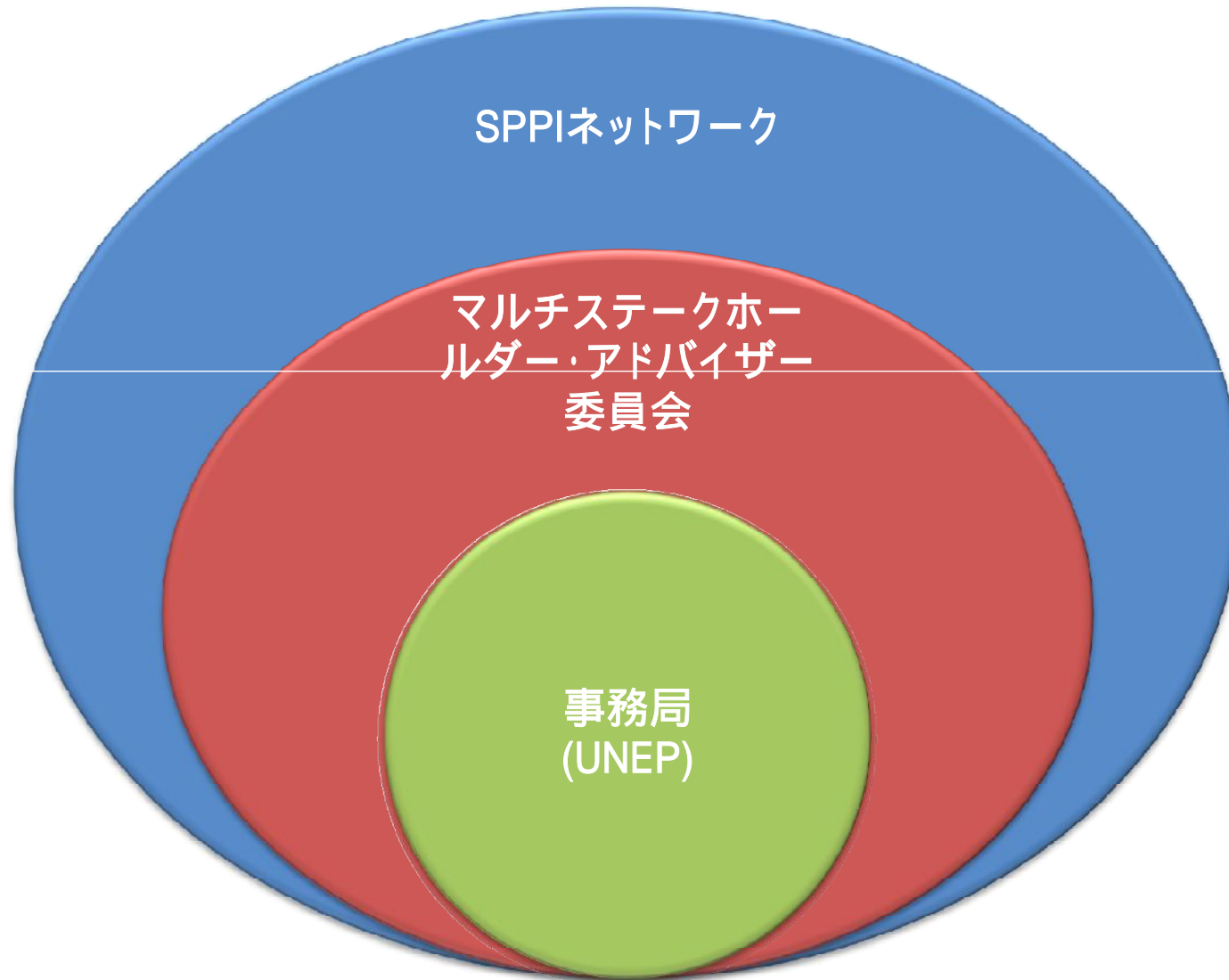
■ ゴール

- 主要なステークホルダー間の更なる協力と、利点と影響力のポテンシャルに対する更なる理解により、SPPの世界的な実施を促進する。

■ 目的

- SPPの実例を作る：グリーン経済と持続可能な開発を促進するためのツールとしてのSPPの有効性や知識を向上させる。
- SPPのステークホルダー間のコラボレーションの強化と協力の改善を介して、現場でSPPの実践をサポートする。

SPPI運営組織体制





SPPIの参加組織(2013年1月)

1. BigRoom (Canada)
2. ChileCompra (Chile)
3. Ciudadano Responsable (Chile)
4. Corvers Procurement Services BV (Netherlands)
5. Danish Environmental Protection Agency
6. Department for Environment, Food and Rural Affairs - DEFRA (United Kingdom)
7. Ecoinstitut Barcelona (Spain)
8. Economic and Monetary Union of West Africa – UEMOA
9. Environmental Development Center of Ministry of Environmental Protection – MEP (China)
10. Forest Stewardship Council – FSC
11. Green Council (Hong Kong SAR)
12. Green Purchasing Network of India – GPNI
13. Green Purchasing Network Indonesia - GPNI
14. Green Purchasing Network of Malaysia – GPNM
15. Groupe Vers des Achats responsables à Rio+40 - VARRIO40 / Association CESA - Achats & Supply Chain
16. ICLEI - Local Governments for Sustainability
17. Institut de l'Énergie et de l'Environnement De la Francophonie - IEPF
18. Institut des Finances Basil Fuleihan (Lebanon)
19. Instituto Nacional de Contratación Pública - INCOP (Ecuador)
20. International Green Purchasing Network – IGPN
21. International Institute for Sustainable Development – IISD
22. International Training Centre of the International Labour Organization – ITC-ILO
23. ISEAL Alliance (United Kingdom)
24. Korea Environmental Industry & Technology Institute – KEITI (Korea)
25. Ministerio de Ambiente, Energía y Telecomunicaciones (Costa Rica)
26. Ministry of Environment (Brazil)
27. Ministry of Economic Development (New Zealand)
28. Ministry of Infrastructure and Environment (The Netherlands)
29. Observatoire des achats responsables - OBSAR (France)
30. Organization of American States – OAS
31. Procurement Analysis (United Kingdom)
32. Procurement Policy Office, Ministry of Finance and Economic Development (Mauritius)
33. Service Cantonal du Développement Durable - Canton de Genève (Switzerland)
34. Sustainable Purchasing Council (United States)
35. Swedish Environmental Management Council – SEMCo
36. Swiss Federal Office for the Environment
37. United Nations Development Programme/Procurement Capacity Development Centre – UNDP/PCDC
38. United Nations Environment Programme – UNEP
39. United Nations Office for Project Services – UNOPS
40. United States Environmental Protection Agency - USEPA
41. African Development Bank – AfDB (OBSERVER)
42. Marc Steiner (Switzerland) – Expert
43. University of London
44. European Commission
45. IEPF -Institut de l'Énergie et de l'Environnement de la Francophonie (Canada)
46. Union économique et monétaire Ouest africaine (UEMOA)

SPPI: 目的と活動

SPPの実例作り

年2回 «SPPの現状»

SPPの実施に対する障害を分析し、革新的な解決方を提案

影響を測定

SPP/GPP活動の調査

進捗状況について確認

課題と機会の分析

分野横断的な活動

ウェブ・ポータル、SPPフォーラムなど

SPPI: 目的と活動

SPPの実例作り

年2回 «SPPの現状»

SPPの実施に対する障害を分析し、革新的な解決方を提案

影響を測定

例: SPPの取り組みに
プロダクト・サービス・シ
ステムを取り入れる

SPPでLCAやLCCの使
用を改善

貿易とSPP

分野横断的な活動

ウェブ・ポータル、SPPフォーラムなど

SPPI: 目的と活動

SPPの実例作り

年2回 «SPPの現状»

SPPの実施に対する障害を分析し、革新的な解決方を提案

影響を測定

現場でのSPPの実施をサポート

SPPプログラム間の相乗効果の構築

民間部門と公共機関の間の共同作業の向上

SPPの実施サポートのために更なるステークホルダーを動かす

分野横断的な活動

ウェブ・ポータル、SPPフォーラムなど



SCP情報センター

www.SCPclearinghouse.org/

コミュニティを持ち、
SCPの全ての領域
をカバー

Explore Full clearinghouse Members area ENG

SCP CLEARINGHOUSE Sustainable Consumption and Production Doing more and better with less convened by UNEP

THE CLEARINGHOUSE SCP INITIATIVES E-LIBRARY NEWS & EVENTS COOPERATION WORKING GROUPS

Product Sustainability Scientific Knowledge Sustainable Tourism Sustainable Food Systems National Policy works / strategies

ACCESS FOCUSED SCP COMMUNITIES

LOREM IPSUM DOLOR SIT AMET, CONSECTETUR
Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Integer ullamcorper tellus ac turpis posuere molestie. Mauris vel lacus et purus ultrices tincidunt sollicitudin pellentesque felis. In fringilla, orci sed scelerisque porta, sapien tellus ultricies dolor, tempor sagittis eros arcu vel nisi. Aenean imperdiet, erat a adipiscing mollis, est eros tempus massa, a auctor lacus justo vel lacus. Suspendisse potenti. Sed a velit libero. Suspendisse potenti. Nullam varius porta luctus. Praesent ac dolor vehicula enim fermentum rutrum. Praesent congue, diam in commodo vestibulum, eros elit pulvinar diam, ut eleifend mauris nunc sed magna. Nam adipiscing lacinia fermentum. Praesent at nulla elit. Nulla facilisi. Class aptent taciti sociosqu ad litora torquent per ing mollis, est eros tempus massa, a auctor lacus justo vel lacus. Suspendisse potenti. Sed a velit libero. Suspendisse potenti. Nullam varius porta luctus.

SCP Initiatives worldwide
Access the database
Sign up
Become member to access all SCP Clearinghouse services

LATEST NEWS
UPCOMING EVENTS

Submit your article > + MORE NEWS Submit your event > + MORE EVENTS

The Clearinghouse SCP initiatives E-Library Resource center Cooperate Working groups Follow us on f t

2012 - loremipsum.com

SPPI活動概要 (2013年4月現在)

- **ワークグループ1: SPPおよび関連の概念を定義し、ビジョンと購入原則を提案する**
 - サブ・グループ1A: SPPの原則を開発する。関連する概念の定義する
 - サブ・グループ2A: SPPのビジョンを提案する
- **ワークグループ2: SPP / GPPの実施状況をモニターし影響を評価する**
 - サブ・グループ2A: SPP / GPPの実施状況をモニターする
 - サブ・グループ2B: 影響を評価してSPPの有益性を伝える
 - サブ・グループ2C: ベストプラクティスの推進
- **ワークグループ3: SPP実施の障壁に対応し、革新的な解決法を提案し広める**
 - サブ・グループ3A: プロダクト・サービス・システム
 - サブ・グループ3B: 法的障壁の対応
- **ワークグループ4: 民間企業との協力を促進する**
 - サブ・グループ4A: サプライチェーンのグリーン化
 - サブ・グループ4B: 環境ラベルやサステナビリティの基準の活用によりSPP実施を支持する
- **ワークグループ5: 中央政府と地方自治体の協力を改善**
- **ワークグループ6: 国際機関や国際開発金融機関との協力**
- **分野横断的な活動:**
 - コミュニケーション (SPP情報プラットフォーム、SPPIウェブサイト、ソーシャルネットワークなど)
 - 2年に1度のSPPIの報告
 - SPPIフォーラムの管理



INTERNATIONAL GREEN PURCHASING NETWORK

SPPEL



UNEPのSPP and Eco-Labeling (SPPEL)プロジェクト

地理的範囲

- コーノ・スール*、ASEAN、アフリカ、ヨーロッパのうち15カ国が対象
 - コア・カントリー：ブラジル、インドネシア、フィリピン、ベトナム
 - アザー・カントリー：エクアドル、ニカラグア、ペルー、ウルグアイ、コロンビア、コスタリカ、チリ、アゼルバイジャン、カザフスタン、インド、モロッコ、モーリシャス、コートジボワール、ケニア、南アフリカ、ウクライナ

メソドロジー

- 地域協力の活動
- 国レベルの活動
- グローバルナレッジマネジメント、アウトリーチ、コミュニケーション

* 南アメリカ最南端を指す地理的範囲。南回帰線以南をいう。アルゼンチン、チリ、ウルグアイの全域に加え、パラグアイの一部と、ブラジル南部のいくつかの州を含む。

SPPELの地域協力の活動

地域協力

- コーノ・スールとASEANの2地域

方法

- 自主基準やラベルのコラボレーション
- SPP実践の経験と学習を共有する
- 新しいラベルを作るのではなく、製品の持続可能性に関する信頼性の高い情報のためのシステムを作成していくため、地域的アプローチを推進する。

REGIONAL LEVEL

Southern Cone and ASEAN

Regional cooperation on Eco-Labeling and SPP

Awareness-raising and capacity building

Feasibility analysis

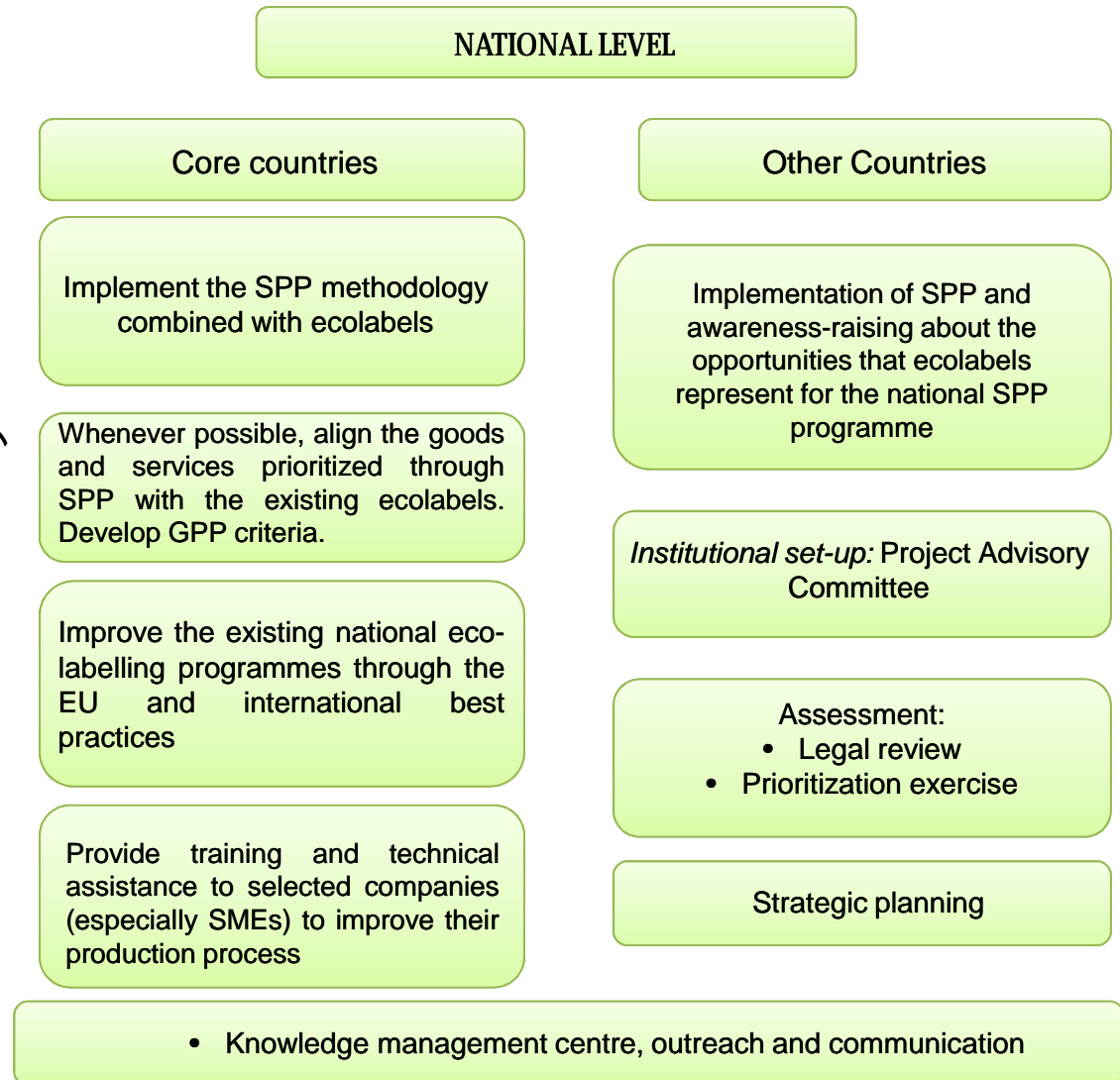
Creating a system for credible information on product's sustainability

Development or adaptation of capacity building tools such as Product Guidelines

- Implementation
- Knowledge management centre, outreach and communication

SPPELの国レベルの活動

- コア・カントリー: エコラベルのプログラムが確立された国
- SPPとエコラベルを組み合わせた実施:
 1. SPPのための製品の選択は、環境ラベルがカバーする製品、またはラベルのステークホルダーにより調整されて開発された基準のプロセスと同期される。
 2. 既存のエコラベルプログラムの有効性を改善
 3. 企業へのキャパシティ・ビルディングと技術支援 (特に中小企業)





INTERNATIONAL GREEN PURCHASING NETWORK

ASEAN+3

ASEAN+3の地域におけるグリーン公共調達とエコラベルに関する知識の向上と能力の強化プロジェクト

- **プロジェクト実施組織:** 国連環境プログラム (UNEP)
- **目的:**
 1. 中国、韓国、日本の知見を基に、ASEAN地域にてSPPと環境ラベルを強化する。
 2. アフリカの環境ラベル等と共にサウス - サウスの協力を深める。
 3. SPPIの活動にてASEAN+3の国々の幅広い参加を狙う。
- **活動対象地域:** ブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム。中国、韓国、日本
- **時期:** 2013年～2014年(2年周期で続いていくと思われる)
- **活動概要:** China-UNEP戦略的協力協定(SCA)に沿って3つのアクティビティが予定されている:
 - アクティビティA: SPPとエコラベルの専門家や政策立案者のASEAN +3のネットワークの作成とネットワークの年次会合の開催。
 - アクティビティB: GPPとエコラベルの実践に関するASEANのケーススタディの開発
 - アクティビティC: 地域のキャパシティ・ビルディングの取り組みを通じて、GPPとエコラベルの知識を共有する



INTERNATIONAL GREEN PURCHASING NETWORK

SWITCH-Asia

SWITCH-Asiaプログラム

<http://ec.europa.eu/europeaid/where/asia/regional-cooperation/environment/switch.en.htm>

- SWITCH-Asiaプログラムは、アジア地域全体の持続可能な消費と生産 (SCP) を推進するために作られた欧州委員会 (EC) の取り組み。
- SCP関連の政策において、生産者と消費者、また政策立案者レベルの両方での推進が目的。
- 2007年～2013年の予算額: €1.52億 (約 ¥ 190億)
 1. 助成プログラム: 2012年末までに16のアジア諸国で66のプロジェクトが助成を受けた (グリーン公共調達、クリーナープロダクション、環境ラベルなどに関するプロジェクト)。
 2. ネットワーク機能: 関係者達の情報共有を促進するために、助成金プロジェクトの情報交換だけでなく、様々なステークホルダーにプロジェクトの成果を伝え、地域レベルでのSCP実施の普及促進を目的。



SWITCH-Asia ポリシーサポート

<http://www.switch-asia.eu/switch-policy.html>

3. 政策支援コンポーネント: アジアでSCP関連政策の策定と実施を強化することを目指し、地域と国の2レベルで行われている:

- **地域レベル:** UNEPと共同で実施。アジアの19カ国が対象で、フォーカスは、アフガニスタン、バングラデシュ、カンボジア、中国、ラオス、インド、ネパール、ベトナム
- **国レベル:** 既にSCPツールを適用する経験を持ち始めている4カ国を対象。グリーン公共調達(GPP)実施への支援が含まれている。対象国は、マレーシア(2012~2015)、タイ(2011~2014)、インドネシア(2012~2015)、フィリピン(2012~2016)

国連の調達における倫理

国連の調達担当者用ハンドブック (UN Procurement Practitioner's Handbook)

- 4.4.4. 倫理的な概念や原理
 - 規約の忠誠と遵守 (loyalty and respect for rules and regulations)
 - 統合性 (integrity)
 - 公平性と公正 (impartiality and fairness)
 - 透明性 (transparency)
 - 守秘義務 (confidentiality)
 - 不正な様子の回避 (avoidance of appearance of impropriety)
 - デュー・ディリジェンス (due diligence)
- <https://www.ungm.org/pph/ch04s04.html>